

# 人づくり ニュースレター

令和7年度

Vol.2

## ◆地域の取組紹介

### ★こどもたちの通学合宿

#### じきょう 自彊わくわく宿(吉田町)

(運営) 代表：市川 頼子 さん (人づくり推進員)  
地域教育推進協議会のボランティアの皆さん



自彊わくわく宿は、集団生活を通じて自分の役割を発見してもらう地域通学合宿です。吉田町自彊を中心に活動している地域教育推進協議会の方々が協力して運営を行っています。今年度も、5月29日から31日までの3日間、長源寺にて開催され、4年生から6年生までの小学生24人が参加しました。

#### ◇自彊わくわく宿の様子

取材に伺ったのは、合宿2日目となる5月30日。ちょうどこどもたちが夕飯を準備している時間でした。この日のメニューは、みんなが大好きなカレー。スタッフの皆さんから野菜の切り方を学び、みんなで協力しながら具材を切りました。自分たちで作ったカレーの味は…もちろん絶品！こどもたちだけでなく、スタッフの皆さんも笑顔で完食していました。

夕食の後は、6年生7人とスタッフ5人による劇が行われました。演目は「井戸の水」。6年生はスタッフが手作りした動物のかぶり物を身に付け、短い時間の中で覚えたそれぞれの役を一生懸命に演じていました。劇を楽しむ下級生は、「6年生すごい！」と尊敬の眼差しを向けながらも、「自分も6年生になったらやるんだ！」とわくわくしている様子でした。劇の最後には全員で「うさぎのダンス」を歌い、お寺に元気な歌声が響き渡りました。

市川推進員は、「こどもたちの笑顔を見ると、スタッフも元気になります。こどもたちとスタッフの世代間交流を通して、関わった全員が楽しめるような活動にしたいです。」と、活動に対する思いを語ってくださいました。その言葉のとおり、お寺の中で元気に遊び回るこどもたちの姿を見ていると、こちらまで元気をもらうことができました。



▲動物役のこどもたちが井戸を掘っています

#### ◇普段はこんな活動もしています！ 放課後わくわく教室

▶運動遊びの様子



放課後わくわく教室は、平成17年に静岡県が放課後の居場所づくりを推進したことをきっかけとして、放課後にこどもたちが思い切り遊べる時間を提供することを目的に始まりました。現在は、月に1～2回ほど開催しており、「七夕飾り作り」や「運動あそび」、「避難訓練」など、様々な活動を行っています。毎回たくさんのこどもたちが参加し、ボランティアの方々と一緒に活動を楽しんでいます。

●編集・発行

静岡県企画部総合教育課

静岡県の人づくり

検索

